

第3号様式（第6条関係）

令和6年6月19日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 . r（ドットアール）

代表者職・氏名 神尾英美

所在地



事業名	専門家を招いた生涯学習事業		
SDGs の 該当ゴール	No. 4 質の高い教育をみんなに すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する No. 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
確定前交付の希望	☒ 希望する	☐ 希望しない	
連絡担当者	氏名		
	住所		
	電話		
	Fax		
	E-mail		
ホームページ	https://todasimin.net/group_140/		
設立年月日	令和4年	2月	2日 設立
会員数	7 人		
年会費	0 円／1年間		
団体の目的	市民が知りたい様々な分野について専門家を招いた講演を開催し、地域に根差した生涯学習を推進する		

主な活動実績	令和4年9月 性教育講演「知っているようで知らない思春期世代のココロとカラダ」 場所：上戸田地域交流センターあいパル 参加者：15名 令和5年2月 DV・デートDV基礎講座 場所：戸田市ボランティア市民活動支援センター 参加者：6名 令和5年8月 性教育講演「知っているようで知らない思春期世代のココロとカラダ #2」 場所：上戸田地域交流センターあいパル 参加者：14名 令和6年3月 サイバーセキュリティ講座 場所：戸田市ボランティア市民活動支援センター 参加者：6名
これまでの補助金等の援助状況	戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）
団体PRなど	生涯学習は、主に3つの理由から必要と言われています。 1つ目はスキルや心の豊かさ、生きがいなどの充足を求める学習需要が増大しているため、2つ目はより豊かな人生をおくるため、3つ目は社会や経済の変化に対応するためです。 私たちは「正確な情報と最新の知識を気軽に学べる機会を提供する」を目標とし、「こんな講演が近所であつたら嬉しいよね」という思いを形にするため、家事や育児や仕事の合間に少しずつ活動しています。 みんなが生まれながらに自由で大切な存在であることを再確認出来る暖かい講演を目指して、お互いを尊重し無理なく楽しく活動しています。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール：4. 質の高い教育をみんなに 17. パートナリーシップで目標を達成しよう

【事業の目的】

生涯教育という言葉を目にする機会が増えました。

ひとつの言葉がその人にとって次の学びのきっかけになることがあります。

・r（ドットアール）は講演という形で学びあいの機会を提供し、そこで得た新しい学びと充実した時間について家庭や知人に伝えていくことで、学びの輪の波及を目指します。

【事業の必要性】

子供たちが ICT 教育や消費者教育や性教育など生きていくうえで大切な知識を学校で受けられるようになり、家庭で質問をされることがあります。

ですが、環境が整っていなかった、自身の関心が少なかった、該当のカリキュラムがなかったなど、きちんと学ぶ機会がないまま大人になってしまった人も少なくありません。

専門家から最新の正しい情報を学びたいと思いながらも、時間的、経済的な余裕がない、子供を預けられない、遠方など様々な理由から叶わない人が一定数存在すると考えられます。

戸田市と協力して事業を行うことで、社会的信頼性が高まり、より広い範囲で知りたい人に情報を届けていけると考えています。

【事業の課題】

私たちの力だけでは、社会信頼度が足りず、本来届けたい相手に質の高い学びの場を届けることが難しいですが、戸田市と協力することでこの課題を解決し、多くの人の人生に新たな学びを贈ることが出来ると考えています。

2 事業の具体的内容

【講師：堅十萌子】

弁護士

埼玉弁護士会所属

県立大宮高校、その他複数の高校・中学校・小学校にて、「人権問題」「弁護士の仕事」「憲法」「主権者教育」の講演を多数行っている

【講演（2 時間）】

① 講演（45 分）休憩（15 分）質疑応答（1 時間）

子ども基本法やいじめ防止対策推進法など思春期の子供を持つ保護者が知っておいた方がよい子育てに関する法律について。時間が余れば講演終了後の個別相談も可

② 7 月 7 日日曜日 上戸田地域交流センターあいパルホール 1、2 にて

③ 市民を対象に定員 30 名

④ これまでの参加者への案内や知人への周知、Instagram での発信のほか、戸田市の施設にチラシを配架し SNS で発信してもらう。

⑤ レジャーシートを敷いてキッズスペースを作る、手話通訳者を呼ぶ、お菓子や飲み物を用意してリラックスできる空間づくりをする

【協力体制】

スタッフ 7 名（講師選定・会場選定・会場準備・講演主催・撤収）

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
5 月 1 日	会場予約・講師スケジュール仮押さえ
5 月 25 日	チラシ印刷・配架申し込み
6 月 16 日	・ r 定例ミーティング
7 月 7 日	講演「新しい法律 ～親が知っておくとよいことはなに？～」

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

動員目標 15 名

申し込み不要、入退室自由にして参加のハードルを下げる

キッズスペースと手話通訳を準備して参加対象を広げる

戸田市内の配架を申請する

戸田市の公式 SNS で発信する

- ・参加者アンケート回収率 目標：60%
- ・アンケート項目「講演の満足度」目標：80%
- ・アンケート項目「今日の講演の内容を誰かに話したいと思う」目標：80%

講習の満足度を可視化し生涯学習の必要性を確認する。メンバーで結果を共有し、次の開催に活用する。

安定的、自立的な運営を実現するために、講演の開催費用について戸田市内の企業に協賛のお願いをしていきたい。その際に市民の皆さんの声が後押しとなるのでアンケートに協力してほしい旨を伝え、回収率の向上を図る。

- ・今後の講演の周知、アンケート項目「次も参加したいと思う」目標：80%

金融教育（学校で行われている金融教育と同じ内容を学び子供に聞かれたときに答えられるようになりたい）、消費者教育（18 歳成人で気を付けることを知りたい）、防犯教育（闇バイトの実態を知りたい）、労働教育（ブラックバイトの対処方法や相談窓口を知りたい）、戸田市について（行政サービスや市の取り組みについて知りたい）など、学ぶことで自分も周囲も幸せになれるような講演を準備している旨を伝え、動員数の向上につなげる。

- ・寄付目標 3,000 円

安定的、自立的な運営を実現するために、活動に賛同してくださる方へ寄付をお願いする。

・今回の講演で得た新しい学びを家庭や知人に伝え、新しい学びのきっかけにしてほしい。講演を受けた人が受け身の姿勢から積極的な学びの姿勢に変わることによって教育の質が高まり「4. 質の高い教育をみんな」にというゴールの達成につながると考えます。

・市と協力することで、市がカバーしきれない細やかな学びの場の提供が可能となり、「17. パートナリシップで目標を達成しよう」のゴールにつながると考えます。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他		
自己資金		380	
利用者負担金		7,500	15人×500円
協賛金・寄附		2,856	
その他			
合 計		60,736	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳
補助 対象 経費	使用料	14,480	上戸田地域交流センターあいパル ホール全体 3,080円×4時間=12,320円 楽屋 290円×4時間=1,160円 音響・プロジェクター 1,000円
	謝礼金	30,000	謝礼
	印刷製本費	5,400	コピー代 5,400円 (モノクロ2円×200枚・カラー10円×500枚)
	消耗品費	6,000	コピー用紙、紙コップ、文具、レジャーシート他
	食糧費	2,000	講師お茶代、飲料、お菓子他
小 計		57,880	内 訳 補助金申請額：50,000円 自主財源：7,880円
補助 対象 外 経費	使用料	1,120	6/16 事前打ち合わせ 上戸田地域交流センターあいパル ホール3 450円×2.5時間=1,120円
	印刷製本費	1,736	チラシ代 1,736円 (300部)
小 計		2,856	
合 計		60,736	

